

# 安全衛生への取り組み

## 全栗本安全衛生活動基本方針

クリモトグループの労働災害件数は減少傾向にあります。ここ3年に関しては減少が停滞しています。また、休業災害が増加していることと不休業でも治療期間が長期化しています。一方、業務上疾病による被災者は、同様に長期的には減少していますが、一般健康診断の結果、脳・心臓疾患につながる所見をはじめとして有所見者の割合が増加しています。仕事や職場生活に関する強い不安やストレスを感じる割合が増加傾向にあり、心の病を発症する事態が増加傾向にあります。

このような中、職場の安全衛生を確保し、労働災害の減少をはかるために経営トップが安全に対する意識や取り組みを再度確認し、また、労働衛生管理体制を確立して従業員の参加のもと活動基本方針に従って安全衛生管理活動の強化に取り組んでいます。全栗本安全衛生の基本理念である「働く人」の尊重を重視した安全衛生活動として、「セーフティアップ クリモト (KRMT) 運動」を展開してきました。

リスク低減のための重点実施事項を次のように定め、取り組んでいます。

- ① 事業場、工事現場でのリスクアセスメントの実施と類似災害発生の防止
- ② 安全作業手順の見直しと従業員への周知徹底
- ③ 挟まれ・巻き込まれ・転落・墜落災害の防止
- ④ 業務上交通災害および通勤災害の防止
- ⑤ 安全衛生教育の実施、新規入場者教育・送り出し教育の充実
- ⑥ 健康診断の結果措置、職業性疾病・生活習慣病への配慮と適切な健康管理
- ⑦ 過重労働による健康障害防止対策、職場におけるメンタルヘルス対策

## 全栗本労働災害発生状況

(含む 協力会社員)

平成 19 年 24 件: 休業 15 件 不休業 9 件  
(死亡災害 0 件 障がい認定 2 件)

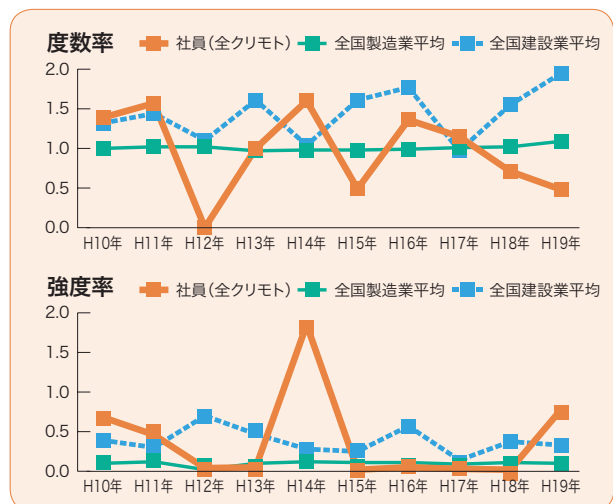
平成 18 年 27 件: 休業 11 件 不休業 16 件  
(死亡災害 0 件 障がい認定 0 件)

平成 17 年 27 件: 休業 14 件 不休業 13 件  
(死亡災害 0 件 障がい認定 1 件)

平成 16 年 31 件: 休業 15 件 不休業 16 件  
(死亡災害 1 件 障がい認定 1 件)

平成 15 年 36 件: 休業 16 件 不休業 20 件  
(死亡災害 1 件 障がい認定 1 件)

## 社員 (全クリモト) 労働災害統計



度数率 = 休業災害死傷者数 / 延べ労働時間数 × 1,000,000

強度率 = 労働損失日数 / 延べ労働時間数 × 1,000

## 労働災害防止対策

労働災害や職業性疾病の撲滅を目指して労働安全衛生マネジメントシステムの適合拡大を目指しています。現在、4つの事業場でマネジメントシステムの適合を受けています。

- 栗本鐵工所加賀屋工場  
JQA-OH0025 2002.3.15取得 (OHSAS18001)
- 栗本橋梁エンジニアリング(株)  
JQA-OH0009 2000.12.8取得 (OHSAS18001)
- 栗本鐵工所古河工場  
H001 1998.12.7取得 (BS8800)
- 栗本鐵工所鉄構事業部  
JQA-OH0009 2000.12.8取得 (OHSAS18001)

## 定期健康診断結果

定期健康診断受診率100%を目指していますが、現状では98%以上の結果になっています。また、平成19年度では胸部エックス線検査と血圧の測定が全国の平均有所見率を上回っています。

## メンタルヘルス対策

メンタルヘルス対策として、①病気の予防対策、②早期発見・早期対応、③職場復帰・再発防止の3段階に分けて対処する必要があります。

具体的には臨床心理士に依頼して管理者に対してメンタルヘルス教育を実施しました。また、社内診療所の看護師・産業医と連携して職場復帰における支援を目指してリハビリ勤務制度の運用を進めています。

## 過重労働による健康障害防止

業務による脳・心臓疾患の発症を防止するためには、長時間にわたる過重労働の排除と疲労が蓄積するおそれのある場合の健康管理対策を強化することだといわれています。

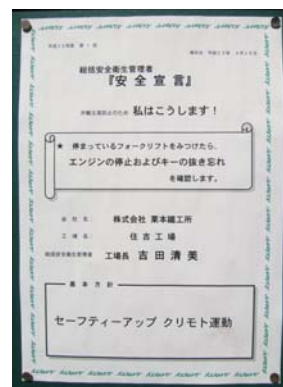
45時間/月を超える残業者への産業医による指導が有効に機能するように、各部門の管理者と連携して本人の健康障害防止に協力しています。

## リスクアセスメントの実施

危険性または有害性の調査に関して事業場および工事現場で可能性と重大性等をリスク評価する危険予知活動を展開しています。

## 事業場トップおよび工事現場所長の「安全宣言」運動

誰にでもわかりやすい表現とし、また、自らがそれを実行していることを示す安全宣言を工場や事務所に掲示して労働災害防止をはかっています。主に工事現場所長が宣言することを推進してきましたが、効果ある安全手法と評価されていますので、事業場(工場)でも適用しています。



## AEDの導入

AED(自動体外式除細動器)を職場の身近に設置することが多くなっています。現在、本社・支社、住吉工場、淡輪研修センター、栗本橋梁エンジニアリングに設置されており、全社展開を進めています。

